

# 慢性期患者を中心に患者本位の診療

同クリニックは「患者本位」の姿勢で、各種検査機器を生かした予防から一次医療まで地域医療の充実に貢献。同じ建物内の耳鼻咽喉科と泌尿器科、隣接の整形外科と連携したにっしんメディカルセンターでは、様々な病状の患者さんを受け入れている。

間で画像診断ができ、患者さんの身体面での負担を軽減。胃、大腸用の内視鏡、年齢に応じて動脈硬化の状態を類推するPWV（動脈硬化測定機器）も備えている。

今年4月に腹部超音波（エコー）を更新。高画質で診断の精度もさらに向上、胆石や脂肪肝といった診断に役立っている。レントゲン写真をデジタル化したCR（コンピューテッド・ラジオグラフィ）を肺炎や胸部の疾患などで活用。短時

高齢者に多い肺炎球菌の予防接種を行い、地域密着型の医療機関として、慢性疾患にも積極的に対応。電子カルテのシステムを採用しており、行き届いたデータ管理とスピーディーな体制で診療に臨んでいる。川原田仁院長は「日常的な健康相談も受け付けているので気軽に来院していただきたい」と話した。



腹部超音波やCRなどを活用し正確な診断に役立っている



院長 川原田 仁

1986年島根医科大学卒。同年札幌医科大学第一内科研究生。道立江差病院、市立室蘭総合病院、札幌外科記念病院、天使病院、恵庭第一病院、登別厚生年金病院内科部長を経て、開業。日本消化器病学会専門医、日本内科学会認定医、日本消化器内視鏡学会専門医、医学博士。

## 医療法人社団 にっしん内科クリニック

☎(0144)71-1500

苫小牧市日新町2丁目6番43号にっしんメディカルセンター

内科・消化器科・循環器科

診療時間／  
月・火・水・金／8:30～12:00 14:00～18:00  
木・土／8:30～12:00  
休診日／日・祝日



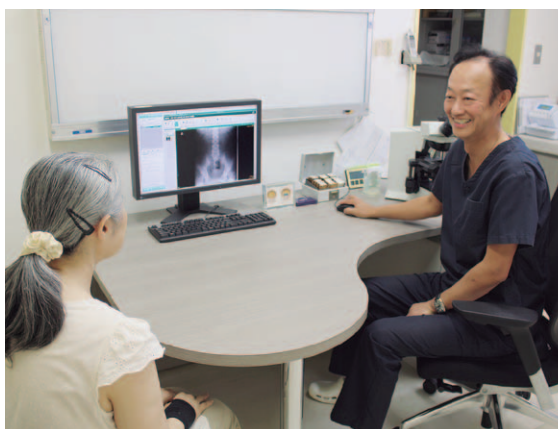
# CR活用し素早く正確な診断

患者さんに優しい医療―を基本理念に掲げる同院は、にっしんメディカルセンター内の各クリニックと連携し、複合的に充実した医療を提供。「患者さんの要望に耳を傾けて一緒に治療を進める」という基本方針のもと、新たな治療方法や新薬を提案しながら、患者さんがいち早く快適な暮らしを取り戻せるように努めている。

といった薬の副作用を緩和。患者負担を大きく軽減する治療を心がけている。

前立腺肥大症や過活動膀胱は、排尿症状や蓄尿症状などの下部尿路症状をきたす疾患。新薬で前立腺の腫れを縮小、症状の悪化を防ぐ。過活動膀胱では口が渇く、便秘になる

CR（コンピューテッド・ラジオグラフィ）をはじめ、レントゲン写真のデジタル化により、尿路結石やがんなどの診療で活用。超音波診断装置やCTスキャンも完備。素早く正確な診断に役立っている。佐藤院長は「前立腺や膀胱がんの早期発見のためにも、50歳を過ぎたら健診の際に腫瘍マーカーを受けられることをお勧めします。泌尿器疾患の予防には食生活や生活習慣を見直すことも大切です」と話した。



笑顔で診療する佐藤院長



院長 佐藤 隆志

1986年札幌医科大学医学部卒。同年札幌医科大学医学部泌尿器科入局。市立砂川病院、俱知安厚生病院、釧路赤十字病院、市立室蘭総合病院、王子総合病院泌尿器科主任科長を経て、にっしん泌尿器科クリニック開院。日本泌尿器科学会専門医。日本性感染症学会会員。医学博士。

## 医療法人社団 にっしん泌尿器科クリニック

☎(0144)71-1100

苫小牧市日新町2丁目6番43号にっしんメディカルセンター  
←ホームページはこちらから



泌尿器科

診療時間／  
月・火・水・金／9:00～12:00 14:00～17:30  
木・土／9:00～12:00  
休診日／日・祝日

